Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.258

2026
12.9（水）
12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆発表者紹介
12:15-12:40 ◆プレゼン
12:40-12:50 ◆質疑応答

オンライン (Zoom)
登録はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_X0rOHDb3QC2IXUHL4IJffw

【技術支援】九州大学 Q-AOS

音と音環境のデザイン：
誰もが暮らしやすい社会を目指して



3 すべての人に健康と福祉を
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを

Keywords
騒音
音環境　人間
デザイン

高田 正幸 教授
九州大学 芸術工学研究院 音響設計部門

【略歴】九州大学大学院芸術工学研究院音響設計部門の教授を担当しています。東京・調布の出身で、1999 年に成蹊大学大学院工学研究科で博士（工学）の学位を取得するとともに、同年九州芸術工科大学音響設計学科・助手に着任しました。その後大学統合により、九州大学大学院芸術工学研究院・助手、助教、准教授を経て、2024 年より教授に就任、現在に至ります。
学生時代に米国自動車メーカー（いわゆる米国 BIG3 の一つ）との自動車車内音の音質評価・改善に関する共同研究プロジェクトに参加して以来、騒音や音環境の評価とデザインに関する研究に取り組んできました。最近は大学キャンパスのバリアフリープロジェクトにも音響担当として関わっています。

私たちの身の周りには様々な音があふれています。聞いて楽しい音もあれば、迷惑な音、苦痛を感じる音もあります。迷惑や苦痛を感じる音は小さくすればよいのですが、一方で、音が情報を伝えるという役割を担っている場合もあり、小さくすることが合理的ではない場合もあります。そのため「音のあり方を考え、デザインする」という考え方が重要になってきます。今回のセミナーでは、騒音と捉えられるような音や音環境のデザインについて，研究事例を交えながらご紹介します。

Contact Information　Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS)　744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN　Tel: +81-092-802-2605